

令和3年度 徳島大学大学院 創成科学研究科修士課程

臨床心理学専攻 III 期

入学試験問題

受験科目名：臨床心理学

【注意事項】

- 1 係員の指示があるまで問題冊子を開いてはならない。
- 2 試験問題は、表紙（この紙）1枚、問題・解答用紙6枚の、合計7枚である。
- 3 解答開始後、各問題・解答用紙の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 4 問題は合計5問である。5問ともすべて解答すること。
- 5 解答は指定された解答欄に記入すること。
- 6 配布した用紙はすべて回収する。

受験番号

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その3

第2問 心理学に関連する次の文章を読み、() 内に当てはまる語句を各問題の選択肢(①～⑤または①～⑥)の中から一つずつ選び、該当する数字を解答欄に記入せよ。

1. 馴化は、基本的に刺激特異的であり、馴化の訓練に用いられる刺激に対しては、反応の()が起こる。
① 増大 ② 鋭敏化 ③ 維持 ④ 般化 ⑤ 減弱
2. ()は、報酬や罰が無いことを前提に、目標達成に向けた行動を引き起こすシステムのことである。
① 行動抑制系 ② 行動賦活系 ③ 刺激希求性 ④ 損害回避 ⑤ Dark Triad
3. 社会的促進とは、他者と近接して()に取り組む行為だけで、個人の課題成績が向上する現象である。
① 同じ課題 ② 新奇な課題 ③ 異なる課題 ④ 慣れた課題 ⑤ 行為の計画
4. ラバーハンド錯覚(現象)は、実験参加者の片手を衝立で隠し、その横の見える位置にゴム手袋を置いて、本物の手とゴム手袋を同時に筆などでなでると、ゴム手袋をあたかも自分自身が()している手のように感じる現象である。
① 操作 ② 所有 ③ イメージ ④ 解離 ⑤ 受容
5. ワーキングメモリのモデルは、全体をコントロールする(a), 下位システムとして(b), 視空間スケッチパッド、エピソードバッファが想定されている(Baddeley, 2000)。
① メタ認知的プラン ② 音韻ループ ③ 情報処理 ④ 注意バイアス ⑤ 視聴覚系 ⑥ 中央実行系
6. 私たちは、何も持っていない時にもらえた「1万円」の方が、10万円を持っている時にもらえた「1万円」よりも、大きな価値を感じる。この現象を説明する記述理論として、()が提唱されている。
① 認知的不協和理論 ② 自己決定理論 ③ プロスペクト理論 ④ 素朴理論 ⑤ 社会的学習理論
7. 愛着関係のタイプについて、アンビヴァレント型の特徴は、分離場面で強い不安や混乱を示し、再会場面で養育者に()が、激しい怒りを示すと記述される。
① 無秩序に振る舞う ② 依存しない ③ 依存する ④ 接触をあまり求めない ⑤ 接触を強く求める
8. ()とは、ある領域に優れた能力をもっている個人が、他の領域ではそうでもないという知見に基づき、「言語」「論理数学」など8つの領域から、人間の能力を説明するものである。
① 一般知能 ② CHC理論 ③ 知能の立体構造 ④ 知能の多因子説 ⑤ 多重知能理論
9. ストレスに応じてグルココルチコイドを分泌する主要な経路は() (HPA 軸)である。
① 下垂体-視床下部-副腎 ② 下垂体-副腎-視床下部 ③ 視床下部-副腎-下垂体 ④ 視床下部-下垂体-副腎 ⑤ 副腎-視床下部-下垂体

解答欄

No	1	2	3	4	5 a	5 b	6	7	8	9
記号										

小 計

受験番号	
------	--

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その4

第3問 次の文章を読み、下の問1～2に答えよ。

心理学における研究法として、質問紙法や面接法をはじめ、さまざまなものが開発されてきた。

問1 質問紙法の特徴について、投影法と比較しながら説明せよ。

--

問2 構造化面接、半構造化面接、非構造化面接の長所と短所について、それぞれ説明せよ。

--

小計	
----	--

受験番号

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その5

第4問 心理学に関連する、次の文章を読み、それぞれの下線部の内容と関連が最も深い語を、下の語群 a～z
の中から一つずつ選び、該当する記号を解答欄に記入せよ。

- 臨床心理学の基本理論として (1) 現実は社会的に構成されている、すなわち、社会における客観的な現実は、私達個人の主観から独立して存在するとみなさず、会話を通じて現実と個人とが相互に影響を与え合う循環的な関係にあるとみなす立場、(2) 根拠に基づいて援助を行おうとするパラダイムで介入法の効果に関するエビデンスなどが挙げられるとする立場などがある。
- 臨床心理学における主要な心理療法として、(3) Freud, S.に代表され、不適応状態の個人クライアントが無意識に押し込んでいた過去の心的外傷の意味を見出し、不適応症状を改善・緩和していく方法、(4) Beck, A. T.に代表され、不適応状態の個人とその不適応行動が対象であり、行動変容に焦点を絞って、アプローチする実用的な方法、(5) Rogers, C. R.に代表され、「いま、ここ」に注目しながらクライアントの話を傾聴し、クライアント自らが持つレジリエンスを高めていく方法などがある。
- 臨床心理学研究には、(6) 仮説生成を中心とした定性的研究で、主に記述的データを使い、データ処理技法の1つとしてデータの中から機能的に生み出されてくる現象理解の枠組みを検討する方法と(7) 得られた情報を数値化し、それを分析し、変数間の関係性を明らかにしようとする定量的研究法で、変数間の関係に関する仮説とデータとのあてはまりを検討する方法などがある。
- 心理臨床活動と関わる心理査定には、(8) 観察法や面接法を用いて行動に関する方法を収集する方法、(9) 投影法に分類され、Buck, J. K.により考案され、3枚の画用紙にそれぞれ「家・木・人」の絵を描くことで人格や心的状態を把握する方法、(10) 質問紙法に分類され、Hathaway, S. R.とMcKinley, J. C.によって開発された550項目から成る人格目録でさまざまな心理的側面を測定しようとする方法などがある。

語群

- a. バウムテスト b. 精神分析療法 c. 否認 d. 参与観察 e. 共分散構造分析 f. MMPI g. 新行動主義
h. 行動分析 i. メタ分析 j. 社会構成主義 k. HTPテスト l. 多変量解析法 m. ケース・フォーミュレーション
n. 複雑性 PTSD o. evidence based approach p. 来談者中心療法 q. 結果予期 r. コード化 s. CARS
t. Papageno 効果 u. 構造化面接 v. 皮肉効果 w. 認知行動療法 x. 遅発性 PTSD
y. grounded theory z. 系統的レビュー

解答欄

No	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
記号										

小計

受験番号	
------	--

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その6

第5問 ギャンブル障害に関して、下の問1～2に答えよ。

問1 「DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル：アメリカ精神医学会版（2013）」（以下、DSM5 と略す）に基づいて、嗜癖障害の中核症状を二つ述べ、その症状をギャンブル障害に当てはめて説明せよ。

--

問2 DSM5 に基づいて、ギャンブル障害者の不適応的な行動パターンの獲得及び社会的機能の損失をそれぞれ二つずつ述べよ。なお DSM5 の操作的診断基準においては、上記に関して二つ以上の記述があるが、上記の内容に沿っていればどの症状を記述しても構わない。

--

小 計	
-----	--

合 計	
-----	--